

ジーニアス川崎校 5年算数カリキュラム

授業日	曜日	授業時間	メイン学習内容	復習内容
9/11	金	180分	食塩水の濃度	円とおうぎ形の長さ
9/15	火	80分	食塩水の濃度(演習回)	
9/25	金	180分	売買損益	円とおうぎ形の面積
9/29	火	80分	売買損益(演習回)	
10/2	金	180分	仕事算・推理と推論	
10/6	火	80分	仕事算・推理と推論(演習回)	
10/11	日	180分	速さ・旅人算	
10/13	火	80分	速さ・旅人算(演習回)	
10/16	金	180分	速さと比1	
10/20	火	80分	年令算	
10/23	金	180分	速さと比2	
10/27	火	80分	倍数変化算	
10/30	金	180分	通過算・時計算	
11/3	火	80分	通過算・時計算(演習回)	
11/6	金	180分	流水算・歩幅	
11/10	火	80分	流水算・歩幅(演習回)	
11/13	金	180分	表とグラフ	角度
11/17	火	80分	表とグラフ(演習回)	
11/20	金	180分	相似1・平均	
11/24	火	80分	相似1・平均(演習回)	
11/27	金	180分	ニュートン算	
12/1	火	80分	ニュートン算(演習回)	
12/4	金	180分	ダイヤグラム	
12/8	火	80分	ダイヤグラム(演習回)	
12/11	金	180分	相似2	四角形、三角形の面積
12/15	火	80分	相似2(演習回)	
12/18	金	180分	比例と反比例・線対称と点対称	
冬期講習		360分	速さ総合・点の移動	
1/8	金	180分	面積と辺の比1	つるかめ算
1/12	火	80分	面積と辺の比1(演習回)	
1/15	金	180分	図形の移動	
1/19	火	80分	図形の移動(演習回)	
1/22	金	180分	面積と辺の比2	消去算
1/26	火	80分	面積と辺の比2(演習回)	

学習内容

中学入試に出題される内容を、単元別に学習していきます。算数の授業は、授業回(180分)と演習回(80分)となり、補習も含め毎週4時間半以上の豊富な授業時間となっています。これは、「算数で差がつく中学受験」である以上、まず算数を先行して学習すべきという考えからです。

同一の単元を複数の日にわたって授業を行うことで、定着をはかります。

小学6年の前半は、重要単元の総復習となります。

学習方法

・テキスト

毎回の授業で、「授業用」「復習用」の2冊の冊子を配布します。「授業用」に書き込むため、ノートを持参する必要はありません。実際の入試問題でも問題用紙に書き込みながら解くわけですから、問題用紙に書き込む形式で授業を進めることが多くなっています。「復習用」は自宅学習用の冊子です。授業で扱った問題も再度掲載しています。図や式、考え方をていねいに書くスペースを用意しています。ただ単に答えを書くのではなく、過程を重視して指導します。「復習用」は次回の授業時に提出し、チェックを受けます。図や式、考え方が書かれていなかったり明らかに不十分であったりする場合には、再提出を求められることがあります。

家庭学習

・授業回(180分)の宿題は【スタンダード例題】→【ハイレベル例題】(授業で扱った場合)→【基礎演習】→【Aプリント】→【Bプリント】(授業でハイレベル例題を扱った場合)の順となっています。

演習回(80分)の宿題は、例題を扱わない場合、【演習A問題】→【演習B問題】の順となります。授業で扱った問題だけ、再度解きましょう。

ジーニアス川崎校 5年理科カリキュラム

授業日	曜日	授業時間	学習内容
9/17	木	90分	月1
9/24	木	90分	月2
10/1	木	90分	地学復習(星)
10/8	木	90分	地学復習(地層)
10/15	木	90分	地学復習(火山)
10/22	木	90分	燃焼1
10/29	木	90分	燃焼2
11/5	木	90分	気体の性質
11/12	木	90分	溶解度1
11/19	木	90分	溶解度2
11/26	木	90分	水溶液の分類
12/3	木	90分	水溶液の中和1
12/10	木	90分	水溶液の中和2
12/17	木	90分	水溶液と金属
冬期講習		360分	ばね・てこ・滑車
1/14	木	90分	輪軸
1/21	木	90分	浮力
1/28	木	90分	圧力

学習内容

基本的に1回の授業で1単元ずつ進みます。12月までに化学分野を終了し、冬期講習から物理分野に入ります。ジーニアスでは物理分野を含め、5年末までに中学受験のカリキュラムを終わらせませんが、物理分野の未習部分は入試期間中など別途補講をし、3月までに全分野を終了します。

小学6年の前半は、生物・地学・化学・物理を一通り復習した上で入試演習に入ります。

学習方法

・テキスト

原則として、毎週冊子として配布します。授業は講義中心、家庭学習で問題演習により定着させます。

・週テスト

原則として、前の週に学習した単元のテストを次の週に行います。宿題の基本分野が定着しているかどうかを問う易しいテストです。90点以上をとれるように宿題を通じて基礎分野を固めましょう。

家庭学習

・宿題は【基本問題A】→【基本問題B】→【演習問題A】→【演習問題B】の順となっています。

演習問題Bは入試問題でありやや難度は高いです。週テストの多くは基本問題から出題されます。

ジーニアス川崎校 5年社会カリキュラム

授業日	曜日	授業時間	学習内容
9/10	木	120分	日本のあけぼのと小国の分立（旧石器・縄文・弥生）
9/17	木	90分	大和朝廷、聖徳太子（古墳・飛鳥1）
9/24	木	90分	大化の改新と天智天皇、天武天皇、持統天皇（飛鳥2）
10/1	木	90分	律令制度と奈良の都（奈良1）
10/8	木	90分	奈良の政治（奈良2）
10/15	木	90分	平安京と摂関政治（平安1）
10/22	木	90分	武士の成長と武家政権、国風文化（平安2）
10/29	木	90分	鎌倉時代の政治と文化（鎌倉）
11/5	木	90分	南北朝時代と室町幕府（室町1）
11/12	木	90分	応仁の乱と戦国時代（室町2）
11/19	木	90分	織豊政権（安土桃山）
11/26	木	90分	江戸幕府の成立と鎖国（江戸1）
12/3	木	90分	元禄文化と幕府政治（江戸2）
12/10	木	90分	化政文化と江戸時代の産業と経済（江戸3）
12/17	木	90分	幕末（江戸4）
冬期講習		360分	明治時代（明治1～明治3）
1/14	木	90分	大正時代
1/21	木	90分	昭和時代1
1/28	木	90分	昭和時代2

学習内容

基本的に1回の授業で1単元ずつ進みます。1月までに歴史分野を終了し、2月から公民分野に入ります。世界の国など世界地理は2月から3月にかけて実施します。

小学6年の前半は、地理分野を中心に一通り復習した上で入試演習に入ります。

学習方法

・テキスト

授業用レジュメ、宿題用冊子と歴史前半、歴史後半にまとめた冊子を配布します。授業は講義中心でレジュメの穴埋めをしながら進みます。家庭学習で一問一答や問題演習により知識を定着させます。

・週テスト

原則として、前の週に学習した単元のテストを次の週に行います。宿題の基本分野が定着しているかどうかを問う易しいテストです。90点以上をとれるように宿題を通じて基礎分野を固めましょう。

家庭学習

・宿題は【レジュメの穴埋め】→【基本問題A】→【基本問題B】→【演習問題A】→【演習問題B】となっています。週テストの多くは基本問題から出題されます。

ジーニアス川崎校 5年国語カリキュラム

授業日	曜日	授業時間	学習内容	漢字範囲
9/15	火	115分	随筆文	漢字 36・語彙 1
9/22	火	115分	論説文	漢字 37・語彙 1
9/29	火	115分	論説文	漢字 38・語彙 2
10/6	火	115分	物語文	漢字 39・語彙 2
10/13	火	115分	物語文	漢字 40・語彙 3
10/20	火	115分	随筆文	漢字 41・語彙 4
10/27	火	115分	詩	漢字 42・語彙 5
11/3	火	115分	短歌・俳句	漢字 43・語彙 6
11/10	火	115分	物語文	漢字 44・語彙 7
11/17	火	115分	物語文	漢字 45・語彙 8
11/24	火	115分	随筆文	漢字 46・語彙 9
12/1	火	115分	論説文	漢字 47・語彙 10
12/8	火	115分	物語文	漢字 48・語彙 11
12/15	火	115分	随筆文	漢字 49・語彙 12
冬期講習		360分	長文読解・知識・文法	漢字 50-52
1/12	火	115分	随筆文	漢字 53・語彙 13
1/19	火	115分	論説文	漢字 54・語彙 14
1/26	火	115分	物語文	漢字 55・語彙 15

学習内容

毎週、30分程度の演習から授業が始まります。解説を通じ、問題の解き方だけではなく、文章を深く読み込んでいきます。解くスキルを高めることだけでなく、入試頻出のテーマを知ることが5年後期の特徴です。授業内では必ず記述問題を扱い、講師がその場で添削し指導します。

小学6年の前半は入試演習です。入試問題の傾向にあわせ、毎年教材は差し替えられています。

おもしろくて ためになる 語彙動画

学習方法

- ・テキスト

原則として、毎週冊子として配布します。宿題も巻末についています。

- ・漢字テスト、語彙テスト

あらかじめ指定された範囲の漢字テスト、語彙テストを合計6分間で実施します。漢字はもちろんのこと、語彙量を増やすために日々の努力は欠かせません。上記の動画も活用して勉強を進めましょう。



家庭学習

・宿題は「漢字」「語彙」「読解」となっています。「読解」については、授業で取り扱った文章から出題されるもの（授業テキストの巻末についているもの）と授業では取り扱っていない文章（授業テキストとは別のテキスト）から出題されるものの2種類があります。